

福島堂々突破



女子100㍊予選で力走する福島千里(中央) ㍊23日、北京(時事)

女子100予選11秒23 日本記録に0秒02

世界陸上

【北京時事】陸上の世界 勝て世界記録保持者のウサ 選手権第2日は23日、北京 イン・ボルト(ジャマイカ) の結果、世界選手権通算9 で行われ、男子100㍊決 が9秒79(向かい風0・5 個目の金メダルでカール・

7年前に日本女子スプリントの歴史に名前を刻んだ地で、福島が今季一番の快走を見た。女子100㍊予選で、自身の日本記録に0秒02と迫る11秒23。2011年大邱大会以来の準決勝に進んだ。

「悪いところがない」と振り返った会心のレースだった。得意のスタートで飛び出し、前半は2番手。追いついてきたブラジル選手に抜かれたが3着。堂々と着順で予選を突破。今季の自己ベストで、向かい風でなければ、日本記録更新も十分にあった。今季は大きな故障がなく、好調を維持。4年ぶりに11秒2台を連発し、4度目の世界選手権に乗り込んだ。「1本目で自己ベストを出すつもりでピークを合

原点北京で会心レース

女子100㍊予選では幕別町出身の福島千里(北海道八尾テックAC・帯南商高)が自身の日本記録に0秒02差と迫る11秒23(向かい風0・5㍊)で7組3着

は13位、高橋英輝(富士通)は47位に終わり、この種目で日本勢の3大会連続8位入賞はならなかった。痛くて我慢していた競歩・鈴木雄介の話。仕方ない。悔しい気持ち。皆さんに期待してもらった中、こういう結果でふがない。(股関節のけがの影響)が大きかった。10時時点でかなり痛くて我慢していた。かなり厳しく、やめた方がいいと思った。

ルイス(米国)を上回り単独で史上最多となった。ジャスティン・ガトリン(米国)が0秒01差の2位。アジア選手として初めて世界選手権の同種目決勝に進んだ蘇炳添(中国)は10秒06で9位だった。

となり、2大会ぶりに24日の準決勝へ進んだ。男子400㍊障害進決勝の松下祐樹(チームミス)は、全体で最下位のタイムとなる51秒10で決勝に進めなかった。同400㍊予選の金丸祐三(大塚製菓)は落選した。男子20㍊競歩では、世界記録保持者の鈴木雄介(富士通)が股関節痛で途中棄権。藤沢勇(ALSOK)は